

ご報告

去る3月2日、2008年の出会いから13年にわたり寄り添ってくれた妻・細川亜希子がこの世を去りました。36歳でした。

2011年に結婚、2019年に待望の第一子を授かってからは、子育てに仕事に苦楽を共にしてきました。あまりに突然のことに、いまも心は落ち着きませんが、亜希子に良くして下さった方々に伝えねばと、ここにご報告いたします。

結婚式の二次会には本当に多くの方に来ていただいて、身に余る祝福をいただきました。子供が産まれるまでは、一緒にギャラリーや美術館を回ることも多かったので、そこでお会いした方もたくさんいらっしゃいます。とくに僕が親しくしている方々とは、亜希子もたくさん会って楽しい時間を過ごしました。

友だちが多いタイプではありませんでした。でも、出会った方一人ひとりに対して、深い愛情を心の内側にもっている、そんな子でした。

言葉では表現しきれませんが、生前、亜希子と出会って下さった方々に、深くお礼申し上げます。

葬儀は家族葬で3月7日におこない、お別れをいたしました。

1週間弱が過ぎた今も、感情は落ち着かず、苦しい日々を過ごしていますが、遺された2歳の子供もいますので、悲しい顔を見せるわけにはいきません。

また、アートダイバーの仕事も、これからが勝負という時です。

亜希子は、この世からはいなくなりましたが、今も母であり、僕の仕事のパートナーでもあり、愛する奥さんです。

自分が弱い人間で、どれだけ彼女に頼っていたかをつくづく思わされた1週間でしたが、二人で過ごした13年間は楽しく思い出せるように、少しずつ努力していきたいと思えます。

仕事をとめてしまっているところもあり、大変申し訳ございません。

できるだけ早く、日々のサイクルをつくりなおして、前へ向かって進もうと思っておりますので、どうぞこれからもよろしくお願ひ申し上げます。

アートダイバー 代表 細川英一

2021年3月7日